

三原市に「地産地消の日」が設定!?

地産地消の日を設定することで、市民意識の向上へ

地産地消の日・週間・月間(都道府県)

新潟県：毎月第3日曜日と10日
富山県：11月
福井県：毎月第3日曜日を含む金・土・日
山梨県：毎月第3金・土・日曜日
長野県：毎月第3日曜日を含む金～日曜日
愛知県：11月

鳥取県：9月12日
島根県：毎月第3週の金・土・日曜日
広島県：10月19日を含んだ週

佐賀県：毎月第3金・土・日
長崎県：1月24日～30日
熊本県：毎月19日
大分県：11月17日
宮崎県：毎月16日
鹿児島県：毎月第3土曜日
沖縄県：毎月第3金・土曜日

香川県：11月・12月
愛媛県：毎月第4金・土・日
高知県：毎月第3金・土・日

北海道：毎月第3土・日曜日

青森県：毎月第3日曜日
岩手県：毎月第4土曜日を中心とする金・土・日
宮城県：毎月第1金・土・日
秋田県：毎月第3日曜日とその前の金・土
山形県：毎月21日
福島県：毎月第3土・日曜日

茨城県：毎月第3日曜日とその前の金・土曜日
栃木県：毎月18日
群馬県：毎月第1日曜日を含む金～日曜日
埼玉県：11月
千葉県：6月・9月・11月・2月

三重県：毎月第3日曜日とその前の日
滋賀県：毎月第3日曜日及びその前日の土曜日
兵庫県：委託先の団体ごとに設定
奈良県：検討中

(社) 三原青年会議所地域の力確立委員会 阪井委員長は「地産地消」を通して、協働のまちづくりを目指しています。その為には、市民が共通の意識を持って活動できる仕組みが必要であると考えています。そこで「地産地消」を推進している他の地域の活動を調査し、仕組みを検討致しました。調査の結果、多くの地域が「地産地消」の日や月等を設定していることが分かりました。

どこが、設定しているのか

設定している団体のほとんどが、行政が主導で行なっており、他の団体に呼び掛けています。行政が主に行なうので、学校給食に地場産食材を使用する取り組みが多いようです。

現在どのくらいの地域が導入しているのか?

上の図でも表わされているように、多くの都道府県が導入しています。

平成20年7月に農林水産省がまとめた情報では、35の都道府県、54の市町村で導入されています。広島県でも導入されており「ひろしま食育ウィーク」を10月19日に含んだ週に設定しています。

どのような取り組みを行っているのか

学校給食に地場産食材を使用することの他に、生産者と消費者との交流をはかるイベントを開催したり、直売所を設置して地元産の農作物・加工品等を販売したりと多岐にわたっています。

今後(社) 三原青年会議所として...

地域の力確立委員会は、様々な先進地事例を調査確認した結果、三原市民が共通の意識を持って活動出来る仕組みの構築には「地産地消」の日や月等を設定することも一つの方法だと理解しました。

しかし、ただ日程を設定するだけでは、市民が共通の意識を持つことはできません。

今後、当委員会は「地産地消の日」設定について、多くの先進地の方々や三原市内の様々な関係者の方々のご意見をお聞きし、三原市に浸透しやすい方法を考えてまいります。

このことが市民・企業・行政が連携して「地産地消」を実現につながるよう活動してまいります。

良く晴れた春の日、糸崎の海岸沿いから南を見ると、さぎ色の穏やかな瀬戸内海が優雅に映り、それを引き立てるように悠然と並ぶ佐木島、生口島、因島、その景色にふと我を忘れる。糸崎駅より少し東、松浜地区の埋立て地が完成し分譲が始まったようだ。聞いた話では三原バイパスのトンネル掘削工事の残土も利用して埋立てられたそうで、その使い道は商港区、港湾活動に伴う倉庫等の利用目的に限るのだと言う。それも画だそう、県の事業であり広島市に住んでいる方が担当者であることに少し寂しさも覚えつつ先日現地を訪問する機会があり、そこからの景色を見て冒頭のよらに感じた。◆このようすばらしい景色を持った土地が新たに三原に出来たことを、より有効に活用できないかと思う。例えばその景色を見ながらコーヒを飲めばおいしいうし、そこに暮らせば毎日素敵な景色と共に過ごせる。このまちは海に隣接したとても恵まれた環境を持っていて、工業専用区になつていて、市政も民業ももっと海を重く捉え、もっと活用出来ないのだろうか。県知事も「瀬戸内海の道」1兆円構想」を掲げている今、三原にとつてチャンスなのかも知れない。◆自分の頭を捻ってみても、簡単に良い答えは出てこないが、例えば子どもたちが学校の帰りに近所の海で遊んでいる、そんな景色があつたら素敵かも知れない。

またかきいたか